

自立生活支援とコミュニティソーシャルワーク

- 集合研修3「自立生活支援とコミュニティソーシャルワーク」を受講するにあたり、事前に本資料及び基礎研修テキスト上巻P107～123を読み、講義の概要を確認してください。

1. 生活をとらえる視点

社会福祉士として、生活を構造的・機能的にとらえる視点について、下記の順に学んでいきます。

- ① 生活とは何か
- ② 生活の時間と場でのとらえ方
- ③ 生活構造的なとらえ方
- ④ 生活学的アプローチの諸側面
- ⑤ 社会の変化と社会構造論的アプローチ
- ⑥ 今日的な社会福祉の動向と生活構造

これらの項目は、現在の社会福祉学や社会政策論の豊かな基盤となってきました。その内容を学ぶことは生活を理解する枠組みと基本的知識になります。

2. 生活問題のとらえ方

生活問題や生活問題を抱えるクライアントを、社会福祉士はどのようにとらえればよいのか。生活問題とは何かについて確認し、生活問題を把握するための枠組みを学んでいきます。

- ① 生活問題とは何か
- ② 生活問題を把握する枠組み

3. 自立生活支援の考え方

自立支援を行う社会福祉援助の大前提となる「自立とは何か?」という事を押さえた上で、クライアントを中心とした支援の考え方について学んでいきます。

- ① 自立生活の意味
- ② 自立生活支援

4. 社会福祉基礎構造改革と自立生活支援

社会福祉基礎構造改革により、地域福祉が中心課題となりました。社会福祉士はクライアントの「自立生活」を支援する役割であるため、改めて「自立生活支援」について学んでいきます。

5. 地域生活支援とコミュニティソーシャルワーク

地域生活支援とコミュニティソーシャルワークの基礎について、学んでいきます。

- ① 地域自立生活支援に求められる視点
- ② コミュニティソーシャルワークの考え方
- ③ コミュニティソーシャルワークが展開できるシステム

- この科目は『新 社会福祉援助の共通基盤 第2版』上巻 社会福祉士がとらえる生活構造 第2節～第4節、『新 社会福祉援助の共通基盤 第2版』下巻 社会福祉士がとらえる地域支援 第2節を参考に作成しています。
- 『新 社会福祉援助の共通基盤 第2版』の中で同じような意味で使用されている用語の統一をはかるために、相談援助、社会福祉援助、実践などは「ソーシャルワーク実践」に、利用者、対象者、クライアントなどは「クライアント」にまとめています。